

森と緑の会だより

秋号
2025

【表紙写真】

石鎚山系伊吹山の 自然林の現状

7月4日(金)、緑が生い茂る初夏の日に伊吹山登山ルートを一視察してきました。ツガやブナなど、たくさんの天然の樹木が生育し、山道の周辺を笹が覆い、伊吹山の自然林を堪能できました。しかし、リョウブなどの低木には、シカが樹皮を食べた跡が見られ、この地域でもシカによる自然林への影響が観察されました。10月にモニターツアーを予定しています(裏表紙の情報をご参照ください)。

トピックス 全国植樹祭が正式開催決定

第78回全国植樹祭高知県実行委員会を設立

令和10年の春季に本県において全国植樹祭が開催されることが正式に決まりました。令和7年9月5日に第78回全国植樹祭高知県実行委員会設立総会が開かれ、3年後の全国植樹祭に向けて本格的に準備を進めていくこととなりました。

全国植樹祭とは

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために行う国土緑化運動の中心的行事で、毎年春に、各都道府県を巡りながら天皇・皇后両陛下のご臨席のもと開催されています。

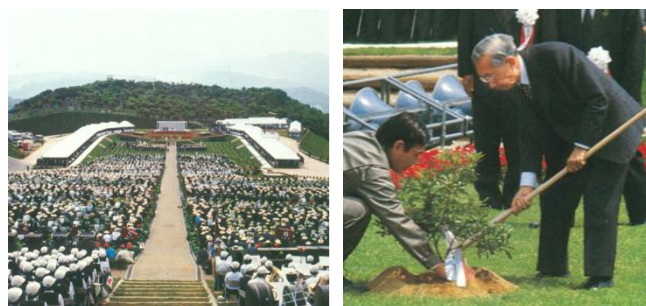
主催は、当会の全国組織である公益社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県で、両陛下によるお手植え、お手播き、緑化功労者等の表彰などの式典行事と、招待者による植樹行事が行われます。また、関連行事として、プレイベント、地域植樹、全国林業後継者大会などが行われます。

【近年の開催状況】

回数	開催年	開催県	開催規模
74	令和6年	岡山県	2,699人
75	令和7年	埼玉県	4,558人
76	令和8年	愛媛県	5,000人(計画)
77	令和9年	奈良県	4,000人(計画)
78	令和10年	高知県	4,000人(計画)

過去の高知県での開催

昭和53年5月21日、天皇陛下をお迎えして、「防災も緑できずく ふるさとづくり」を大会テーマに高知県の甫喜ヶ峰森林公園（香美郡土佐山田町、現 香美市土佐山田町）で第29回全国植樹祭が行われました。県内外から10,800人余りが参加し記念式典のほか、昭和天皇陛下によるお手植え、お手播きが行われました。お手植えは、すぎと県花のやまもも、お手播きは、とさみずきと県木のやなせすぎが選ばれました。



第29回全国植樹祭（高知県甫喜ヶ峰森林公園）、左：会場風景、右：昭和天皇によるお手植え（高知県提供）



第75回全国植樹祭（埼玉県）、左：天皇陛下によるお手植え、右：緑の少年団による記念植樹

第78回全国植樹祭に向けて

昨年9月に、全国植樹祭開催の内定を受けて県や業界団体、大学などの有識者で構成する全国植樹祭準備委員会を組織し、本年3月に基本構想を策定しました。

基本構想では、開催理念や開催規模、開催内容の方向性等の基本的な事項が定められ、式典会場の候補地として高知市の「県立春野総合運動公園（体育館）」が選定されました。

【基本構想】

(1) 開催理念

災害や地球温暖化の防止に重要な役割を果たすとともに、里・川・海を潤し、私たちの暮らしを支える森林を次代へ引き継ぐよう、街や山村に住む一人ひとりが自然と共生しながら森林の役割を理解し守る行動を促していきます。

森林資源の循環利用が進んで脱炭素社会の実現に貢献していくよう、森林整備と再造林をその担い手の確保とともに推進していきます。

(2) 開催時期

令和 10 年（2028 年）春季

(3) 式典会場開催候補地

県立春野総合運動公園（体育館）

(4) 開催規模

4,000 人程度（県内外から参加する招待者、協力者・スタッフを含む）



高知県立春野運動公園（写真：高知県提供）

第 78 回全国植樹祭

高知県実行委員会設立総会

令和 7 年 9 月 5 日に高知市内で開催された設立総会には、主催者である県の濱田知事をはじめ、開催市（候補地）の桑名高知市長、当会の川田理事長、関係団体の代表者、報道機関など 62 名が出席しました。

実行委員会では、令和 7 年度の事業計画及び収支予算について協議され、基本計画（素案）の策定、機運醸成活動として苗木のスクールステイ（育成活動）や大会テーマ及びシンボルマークの公募・選定に取り組むこと、また、式典会場以外で全国植樹祭を中継するサテライト会場の募集・選定、大会開催の前年度（令和 9 年度）に、

県内 6 ヶ所程度で地域植樹行事を行う会場を選定することなどが満場一致で決議されました。

県民参加の森林・緑づくりの推進

全国植樹祭の開催を契機に、当会では子どもから大人まで幅広い世代の森林保全に対する関心を高め、ボランティア活動への参加・協力を促すよう、これまで培ってきた関係機関や団体等との連携協力関係、蓄積してきた知識や情報を活かし、森林の整備や緑化の推進、森林環境教育、森林ボランティアや指導者の人材育成などの幅広い事業を引き続き実施していきます。

特に、次世代を担う子どもたちに森や緑、木などの自然と触れ合う機会を提供することは、子どもたちの自然に親しむ感性を育成するだけでなく、森林や環境問題に対する社会の理解や関心を育む基礎となる重要な取り組みです。このことから、企業、団体、行政などとパートナーシップを組み、県下各地に緑の少年団活動の輪を広げていきます。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



高知市朝倉にある「アジロ自然の森」では、月に1回程度「森のようちえん」を開催しています。

9月7日(日)には、森の整備体験に5組11名が参加し、先日の台風で傷んだ遊歩道を、自分たちの手で整備しました。

必要な道具を持ち、どこが危険か考えながら歩きました。雨で土が流れ木の根が出ている所には鍬で土をかぶせて踏み固め、足に絡みそうな植物が生えていたら剪定バサミで切り、歩道にかぶさってきそうな木は鋸で切り、安全で快適に歩きやすい遊歩道に整備しました。



森の中では、カナヘビ、かんとらう、コウモリなどの生き物に出会ったり、樹液が溢れ出ている樹木を観察したり、ロープを使った岩登りやシダ飛ばしを楽しむなど、参加者は里山の身近な自然を満喫していました。

午後からのクラフト体験では、小枝や拾ったばかりのどんぐりでストラップを作ったり、竹ぽっくりを作りカップカップとバランスを取りながら楽しそうに歩いていました。



木にふれてつくって感じよう こうち木育ひろば

9月11日(木)に高知市の潮江双葉園で、株式会社響建設との共催で「こうち木育ひろば」を行いました。

ワークショップ「かおをつくろう」では、年中さん、年長さん34名が木の輪切りに園庭の葉っぱなどをくっつけて自由に顔を作りました。どんぐりや葉っぱの大きさ、形の違いに気づいたり、自然素材のにおいや手触りを感じたりすることで興味がわき、感性が刺激され、個性豊かな作品に仕上がりました。

また、年少さんから年長さんの



59名が木のおもちゃで遊びました。ホールに響く声や無中で遊ぶ子どもたちの表情からも楽しんでいる様子が伺えました。

木育では、五感を使う、体験する、こころを育てるということを大切にしています。自然素材に実際に触れて、そこから感じる気持ち、生まれる自由な発想を尊重することが豊かなこころを育みます。園庭の落ち葉など、素材は身の回りにたくさんあります。身近なものを使い、気軽に楽しく木育に取り組むことができます。



令和 7 年度樹木医セミナー「樹木の診断と治療に関する知識」

緑サポーターとは、樹木医の指導の下で緑の保全活動を行う人材で、(一財)日本緑化センターの緑サポーター養成研修を一定期間に受講すると登録できます。

高知県では、緑サポーター養成研修として樹木医セミナーを長年実施しており、今回 7 年ぶりの開催となりました。6 月から 9 月までの全 6 回で、樹木医や各分野の専門家を講師に招き、森林の生態や樹木の病虫害、土壌、維持管理など、多岐にわたる内容を 35 名が受講しました。その一部をご紹介します。

樹木観察

高知市近郊にありながら 80 種以上の樹木が観察できる「アジロ自然の森」で現地研修を行いました。里山の自然を守るとは樹木医にとっても大切なことで、森の成り立ちや植生について学びました。

森の再生を考える

循環型自然再生や豊かな森を守るための座学を行った後、再びアジロ自然の森で現地研修を行いました。樹木の状態を見ながら森にある自然物でいかに土壌を回復させ、荒れた森を再生させるか、枯れ木で土留めをしたり、木炭などを使って根に活力を与えたりする方法などの指導を受けました。



天然記念物樹木の再生

高知県を代表する天然記念物である大豊町「杉の大杉」、仁淀川町「ひょうたん桜」の保護・育成に長年携わってきた濱田吉成樹木医を講師に招き、樹木再生の軌跡を視

察しました。樹木の生命を維持する大がかりな工事などの説明は、樹木医をめざす受講者にとって今後の目標となる貴重な機会となりました。



当会では、緑の募金を活用した県内の樹木の保護・育成を実施するにあたり、樹木医や緑サポーターの協力をいただいています。セミナー受講者の皆さんの今後のご活躍を期待しています。

令和 8 年度緑の募金公募事業
募集のご案内

緑の募金を活用して、県内の森林整備や緑化推進に関する事業を行う団体に交付金を交付します。

募集期間：令和 7 年 10 月 15 日から 11 月 28 日

事業期間：令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 23 日

※詳しくは、当会ホームページのトップページ「お知らせ」の告知をご覧ください。



こうち山の日推進事業

高知県の森林環境税を活用した補助事業

今年も県内各地で山や木に親しむイベントが行われています。

【普及啓発活動支援事業 10月以降のイベント開催予定】

開催日	イベント名
10/12(日)、11/22(土)、 12/20(土)・27日(土)、1/18(日)	ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト教室
10/25(土)	ひのみこアウトドアフェス 2025
10/25(土)・26(日)、11/2(日)	高知の山の恵みを抽出しよう ～植物から抽出したエキスや色素で楽しもう～
11/8(土)	幡多山もりフェス 2025
11/8(土)	2025 ふなと四万十川源流点ウォーキング
11/9(日)	甫喜ヶ峰フェスティバル 2025
11/9(日)・16(日)、 1/12(月・祝)・25(日)	ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト教室
11/16(日)	こうち山の日 情報交流館まつり キッズフェス
11/23(日)	「室戸岬周辺の樹木とヤッコソウ観察」
12/14(日)	Trail Jamboree in 甫喜ヶ峰 2025
1/17(土)	土佐塩の道整備体験 ～古道の修理を通して、自然環境や昔の暮らしを知ろう～
10/5(日)、1/18(日)	里山整備&親子自然体験推進事業

※イベントの追加や詳細はホームページ、SNS で告知します。

山の学習支援事業（宿泊型学習支援事業）

高知県の森林環境税を活用した補助事業

梶原小学校の取り組み：森林と海のかかわりを知ろう！

梶原小学校では、毎年、5年生が高知県立幡多青少年の家で宿泊を伴う体験学習をしています。今年は7月23日（水）から25日（金）の2泊3日で森林と海のかかわりについて学びました。

1日目は、株式会社 KIRECUB（きりかぶ）の方を講師に招き、カードゲーム「moritomirai（モリトミライ）」を行いました。山の所有者、森林組合、猟師、学校の先生などの役割になってゲームをすることで、森林と自分たちの暮らしについて理解を深めることができました。

2日目は、事前学習で山と川の働きや海との関係を学んだ後、浮津海岸でボディボードやスキムボードに挑戦し、実際の波

の力強さを体感しました。その後、野外炊飯やキャンプファイヤーを実施し、まきを使って火をおこす体験を行いました。

3日目は、竹で作られたモルックを使って、班対抗のゲームを実施しました。身近にある竹を工夫して遊びの道具として活用し、自然素材の可能性や地域資源の大切さを学ぶことができました。



左：カードゲームを使った森林環境学習、右：竹を利用したゲームするモルック

高知県森と緑の会 正会員・賛助会員をご紹介します

※敬称略・順不同（令和7年10月1日現在）

【正会員】

高知県	(一社)高知県木材協会	安芸建設協会
34 市町村	(一社)高知県山林協会	高陵地区建設協会
23 森林組合	高知県農業協同組合中央会	株式会社四国銀行
高知県森林組合連合会	高知県種苗緑化協同組合	株式会社高知銀行
農林中央金庫高松支店	高知市再生資源処理協同組合	株式会社高知新聞

【賛助会員】

安芸猟友会	(一社)高知県建設業協会	(一社)高知県森林整備公社
中芸猟友会	高知県建設業協会室戸支部	(一社)高知県森林土木協会
芸東地区猟友会	高知県建設業協会嶺北支部	(一社)四国林業土木協会
香美猟友会	高知県建設業協会南国支部	(一社)日本樹木医会高知県支部
いの地区猟友会	高知県建設業協会伊野支部	株式会社島田屋
佐川中央猟友会	高知県建設業協会高吾北支部	鈴木建設株式会社
須崎地区猟友会	高知県建設業協会高幡支部	株式会社南国緑地建設
土佐清水地区猟友会	高知県建設業協会中村支部	株式会社響建設
宿毛地区建設協会	高知県林業改良普及協会	株式会社エヌ・シー・ビー
嶺北林材協同組合	協同組合高知県木材市場連盟	有限会社福井フラワーガーデン
協同組合木星会	高知県木材産業協同組合連合会	株式会社林釣漁具製作所
仁淀川漁業協同組合	高知県素材生産業協同組合連合会	ガーデン&エクステリア e n
有限会社エスエス	仁淀流域素材生産業協同組合	中土佐ライオンズクラブ
有限会社香北観光	こうち生活協同組合	はりまやハーバークラブ
株式会社海昌	生活協同組合コープ自然派しこく	有限会社太平洋マリン
株式会社とされいほく	医療法人恕泉会 内田脳神経外科	株式会社東洋ビジネスソリューションズ
	医療法人産鈴会 田村産婦人科	とおわ守人企業組合

鍋島 浩	岩村 俊夫	道原 大貴	喜多 優希	西内 健※	桑名 龍吾※
臼井 裕昭	門田 数子	野島 幸一郎	北 泰子	溝渕 健夫※	中西 哲※
土居 稔	谷口 喜美	安並 真璃子	山本 速水	三石 文隆※	萩野 義和※
坂本 彰	西内 章子	宮崎 聖	大崎 吉晃	加藤 漢※	(※名誉会員)
坂本 千代	福田 誠	平子 真治		弘田 兼一※	
受田 浩之	吉田 日和	市栄 智明		土森 正典※	
大野 靖紀	高橋 隆	西澤 窈子		浜田 英宏※	
野口 朗子	松本 美香	川村 貞夫		依光 晃一郎※	

賛助会員を募集しています！

森林の大切さを伝え、一人ひとりが森林保全に参加する「森づくりの輪」を広げるために、当会の活動をご支援いただける賛助会員を募集しています。

【年会費】

個人 3,000円(目安)
団体 10,000円(目安)

豊かな森林を未来に引き継ぐために、
わたしたちの活動をご支援ください。

※当会は特定公益増進法人に該当します。賛助会費や緑の募金は、特定寄附金として税制上の優遇装置が受けられます。

SNSで事務局の活動やイベントの告知などを発信しています。

是非ともご覧ください。



フォロー
よろしく！





秋の緑の募金キャンペーン

毎年9/1～10/31は
秋の緑の募金期間です。

緑の募金にご協力をお願いします！

株式会社建設マネジメント四国様より
緑の募金へご寄付をいただきました。

当会事務局にて目録贈呈式を行いました。
寄付いただきました緑の募金は地域の身近な
緑化活動や次世代が参加する森林体験活動な
どのために有効に活用させていただきます。



右：株式会社建設マネジメント四国企画
部長福田浩様
左：公益社団法人高知県森と緑の会川田
勲理事長



●緑の募金箱

高知県内の量販店、ホームセンター、
金融機関、道の駅、体験施設等のご協力を
いただき、緑の募金箱を常設していま
す。

**募金箱を見かけたら、
ご協力をお願いします！**

新たに募金箱を設置していただける
ところも募集しています。

“フォレストファンクラブ” モニターツアーのご案内

紅葉の季節に

石鎚山系伊吹山を散策しよう。

ブナの天然林を歩いて伊
吹山山頂へ。近頃、二ホンジ
カによる自然植生への食害
がみられ、失われつつある
植生を観察し、その被害状
況や保護の取り組みなどを
森の案内人から解説を聞き
ながら散策します。



【実施日】10月19日（日）【参加費】無料

申込方法など詳細は、当会 HP イベント情報をご覧ください。
URL <https://www.moritomidori.com/event/>



●緑の募金グッズ

一定額以上の緑の募金でご希望の方
にオリジナルグッズをプレゼント！

木製バッジ（9種類）：500円以上
マルシェバッグ（2種類）：1,000円以上
ランチバッグ（4種類）：1,000円以上
山歩き手拭い（3種類）：2,000円以上

※詳しくは、当会ホームページの「緑の募金
グッズのご案内」ページをご覧ください。

公益社団法人高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市棧橋通 6-7-43 総合保健協会合同庁舎 5 階

電話番号 088-855-3905 FAX 番号 088-855-3906

E-mail : info@moritomidori.com URL : www.moritomidori.com

ホームページでイベント情報などを随時お知らせします >

発行

